

## 日頃の感謝の気持ちを込めて 母の日プレゼント作り教室

大好きなお母さんへの贈り物にと、5月7日に「母の日プレゼント作り教室」が開催されました。  
日頃、愛情たっぷりお世話をしてくれるお母さんへ感謝の気持ちを込め手作りに励んだのは、島の草木染めを用いた「バンダナ・ストール」で、久米島紬事業協同組合の皆さんの指導を受けながら、参加した子ども達は一生懸命、プレゼント作りに頑張っていました。



## 交通ルールを学ぼう 町内新入児童対象交通安全教室

4月12日から14日までの3日間、町内の新入児童(幼稚園生、小学校1年生)を対象に交通安全指導教室が実施されました。  
新入児童が登下校時や遊んでいるときに事故に遭わないよう、各小学校近くの信号機を使って横断歩道の渡り方、道路を歩くときに気をつけることなどを久米島交番の警察官のみなさんが指導を行ってくれました。



## 小学校と中学校へのテント寄贈

糸満市にある「新糸満造船株式会社」より、町内全小・中学校へテントの寄贈がありました。  
日頃関わりのある離島地域への感謝と激励を込めた、同社からのご厚意です。誠にありがとうございます。

## 久米島のホタル観察会が開催されました

県の天然記念物にも指定されている「クメジマボタル」の観察会が、4月20日、21日の2日間開催されました。  
今年は、「クメジマボタル」の主食であるカワナナが赤土流失等により減少し、乱舞するホタルも昨年より減りましたが、ピカピカ輝くホタルの光に参加者は、感嘆の様子でした。  
また、観察会冒頭では「平成28年度久米島ホタルンジャー」の認定式も行われました。



## 人材育成事業へ寄附金

5月11日、株式会社ひらた産業(平田 青太郎代表取締役社長)が久米島町教育委員会を訪れ、人材育成事業(※)への寄附金100万円の贈呈が行われました。  
平田 青太郎 代表取締役社長は、「これまで子どもたちへ役立てることがないか考えていたが、今回の寄附を通じて子どもたちの人材育成に活用してください」と話しました。吉野 剛教育長は、「いただいた寄附金は、子どもたちの人材育成のために有効活用させていただきます。ありがとうございました」とお礼を述べました。  
(※)人材育成事業とは、奨学金の給付や貸与のほか、児童生徒の文化やスポーツでの県内外への派遣など町の人材育成に取り組む事業です。



## 島内で働く看護師の育成を目指して ふれあい看護体験

5月12日は看護の日となっており、12日を含む週の土曜日までが、看護週間です。看護週間の取り組みの一環として、5月14日に「ふれあい看護体験」が公立久米島病院で行われました。小学生11人が参加し、実際に働く看護師さん達の指導のもと、正しい手の洗い方や、聴診器の使用法、血圧計測体験、車いす体験などを受けました。看護師の仕事の説明の際には児童も熱心に、メモを取りながら話を聞いていました。  
看護部長の津波勝代さんは「まだまだ島内では医療従事者が少ない現状があり、是非この体験を通して看護の道に進み、久米島で働いてほしい」と話しました。



## いろいろなお話楽しいな! 久米島町こどもの読書週間

4月23日の「子ども読書の日」にちなんで行事として、「久米島町こどもの読書週間」が町内4保育園(所)を巡回・訪問し実施されました。  
今年も地域の読み聞かせボランティア協力のもと、季節の風物詩「鯉のぼり」や、「ありがとうまと」の絵本に登場する可愛いキャラクター「トマトマン」を用いた実演、絵本の読み聞かせを披露し、子ども達を楽しませました。

## 新たな本に出会おう! 沖縄県立移動図書館I N久米島

沖縄県立図書館の書籍貸出による「沖縄県立移動図書館I N久米島」が、4月23日から2日間開催されました。  
今回も紙芝居や絵本の他、児童・生徒向け、小説、趣味(料理、子育て等)本が総数1,300冊、ずらりと揃い、多くの町民の方が来場されました。約1,100冊の本が貸し出され、町民の読書に対するニーズの高まりが感じられました。

